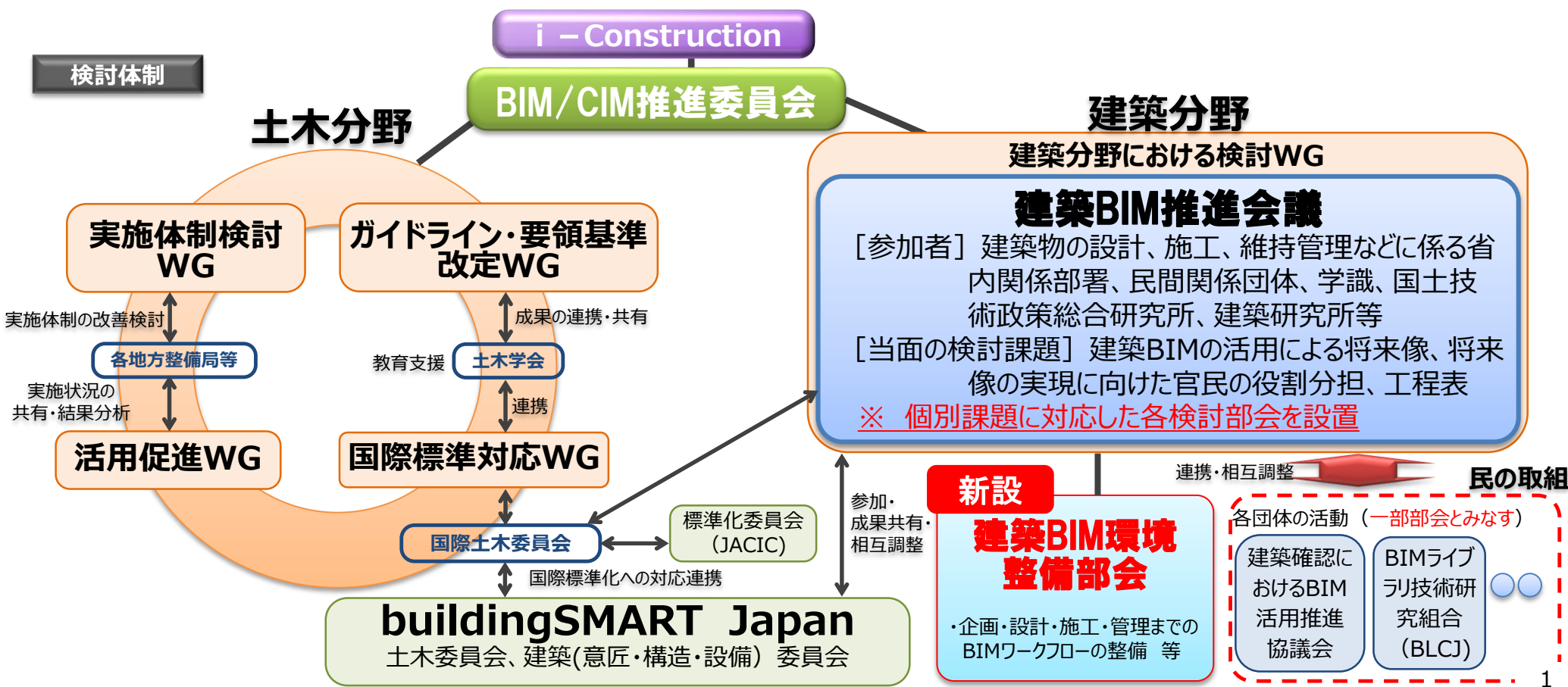


建築BIM環境整備部会の位置づけ

令和元年10月
建築BIM環境整備部会

- ✓ 建築物の生産プロセス及び維持・管理において、BIMを通じ情報が一貫して利活用される仕組みの構築を図り、建築分野での生産性向上を図るため、官民が一体となってBIMの推進を図るため建築BIM推進会議を省内に構築（既存のBIM/CIM推進委員会の下に建築分野における検討WGとして構成）。
- ✓ 建築BIM推進会議においては、各分野で進んでいる検討状況の共有や建築BIMを活用した建築物の生産・維持管理プロセスやBIMのもたらす周辺環境の将来像を提示するとともに、将来像に向けた官民の役割分担・工程表（ロードマップ）を提示。
- ✓ **個別課題に対応するため、企画・設計・施工・管理までのワークフロー等を検討する「建築BIM環境整備部会」の設置や、各団体の活動を部会に位置づけることで、建築BIM活用に向けた市場環境の整備を推進。**



●学識

[部会長]	志手 一哉	芝浦工業大学建築学部建築学科	教授
	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学建築学部建築学科	教授
	清家 剛	東京大学大学院新領域創生科学研究科	教授
	安田 幸一	東京工業大学 環境・社会理工学院	教授

●関係団体

		民間団体等
設計		(公社)日本建築士会連合会 (一社)日本建築士事務所協会連合会 (公社)日本建築家協会[JIA] (一社)日本建築構造技術者協会[JSCA] (一社)日本設備設計事務所協会連合会[JAFMEC] (一社)建築設備技術者協会 (公社)日本建築積算協会[BSIJ]
うち 建築確認		日本建築行政会議 [JCBA] (一財)日本建築センター
施工		(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会 (一社)日本電設工業協会、(一社)日本空調衛生工事業協会
維持・管理 発注者等		(一社)住宅生産団体連合会、(公社)日本ファリティマネジメント協会 [JFMA] BIMライブラリ技術研究組合 [BLCJ]、(一社)不動産協会[RECAJ]
調査・研究		国土技術総合研究所、国立研究開発法人 建築研究所 (一社) buildingSMART Japan [bSJ]、(一社)日本建築学会 [AIJ]
情報システム・ 国際標準等		(一財)日本建設情報総合センター [JACIC] (一社)建築・住宅国際機構 [IIBH]

●国土交通省

建築BIMの活用による将来像と実現に向けた必要な取組(ロードマップ)

建築BIMの普及・進化

高効率なライフサイクルの実現

無駄なく、速く

- 投資効果の可視化(コストマネジメント)による迅速な意思決定
- 設計・施工・維持管理段階の円滑な情報の伝達により、無駄のない建物のライフサイクルを実現
- 設計、施工の各工程の作業効率化
- 維持管理の省力化の実現
- 海外との共通・競争基盤としてのBIMの確立

高品質・高精度な建築生産・維持管理の実現

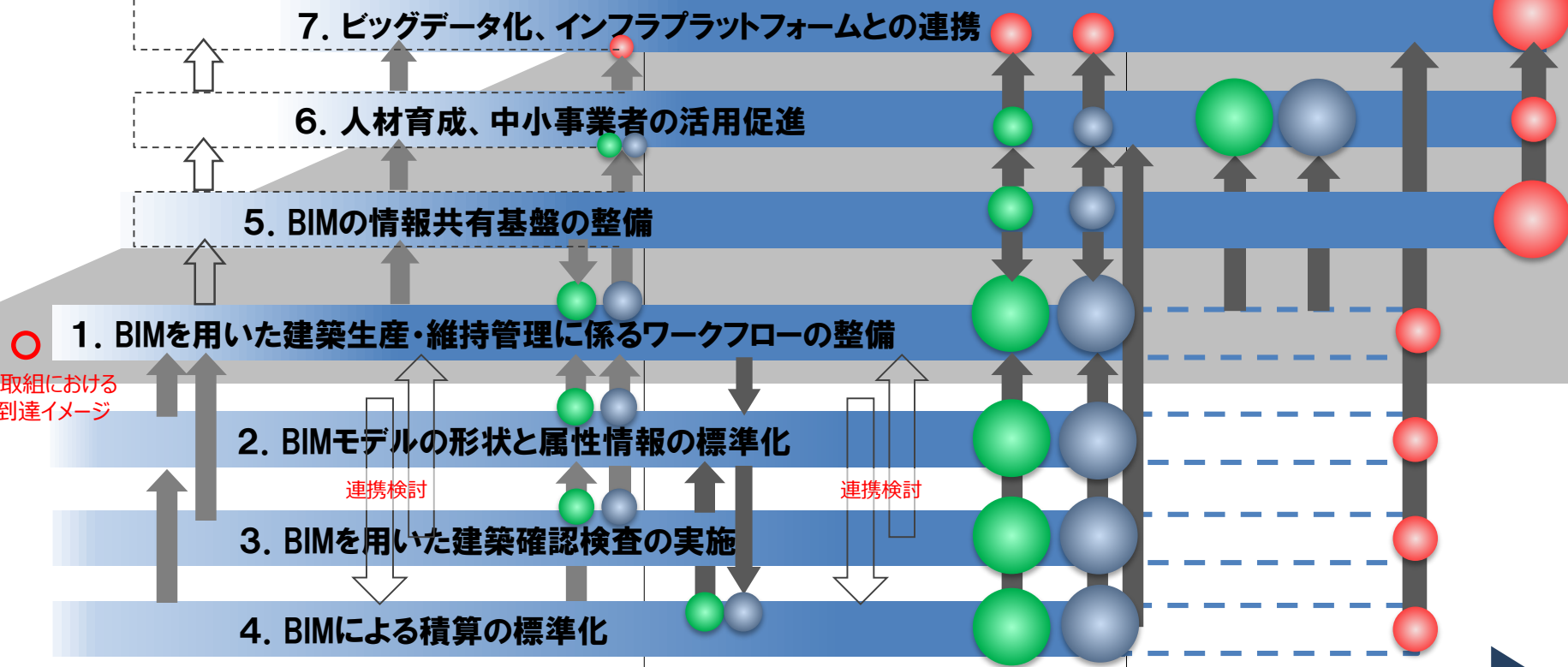
いいものが

- 3Dモデルの形状と属性情報により空間を確認できることで、建築のプロでない人でもイメージを共有
- 設計・建設時の情報が一元管理されることで、建築時の効率的な品質管理を実現
- 完成後も活用可能なデータにより、最適な維持管理、資産管理、エネルギー管理を支援

社会資産としての建築物の価値の拡大

建物にも、データにも価値が

- 適正かつリアルタイムな資産評価・資産管理の実現
- センサー等との連携による建築物へのサービスの拡大
- ビッグデータ・AIの活用による建築物を起点とした新たな産業の創出
- インフラプラットフォームとの融合による最適ナリリスク管理の実現



先行的取組における現在の到達イメージ

連携検討

連携検討

将来像を実現するための取組の流れと効果の発現 (ロードマップ)

1. BIMを活用した建築生産・維持管理に係るワークフローの整備

概要

設計・施工・維持管理・改修のそれぞれの段階で必要となる「BIMモデル・情報の程度<範囲、詳しさ>」を整理し、これに沿って各プロセスの役割・責任分担の明確化を図ることで、建築生産・維持管理プロセスで一貫したBIMの活用を可能とするための環境を整備する。

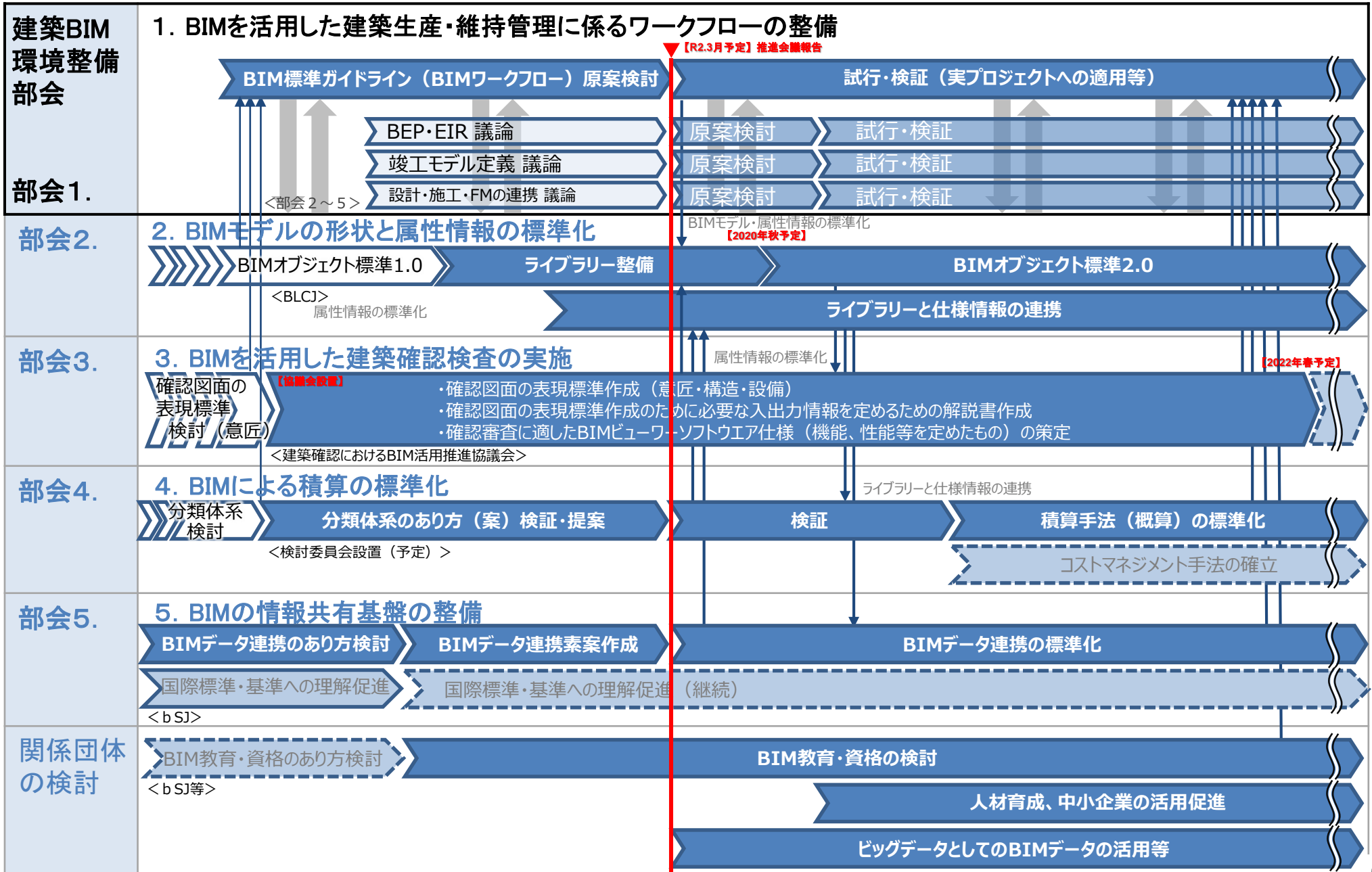
工程表

検討事項	概要	主な関係委員等※	工程表			
			工程1	工程2	工程3	
1-1. BIM標準ガイドライン(BIMワークフロー)	企画・設計・施工・管理までのワークフローの整備と、各段階で必要となるBIMモデルの形状と属性情報の程度(標準フォーマット)を整理	国交省 + 関係団体	検討	試行	実装	
1-2. BIM実行計画書の標準策定(BEP)	各プロジェクトにおいてBIMを利用するために必要な事前取り決めのひな型を整備	国交省 + 関係団体	検討	試行	実装	
1-3. BIM発注者情報要件の標準策定(EIR)	発注者がプロジェクト情報を作成するための管理上必要な要求水準のひな型を整備	国交省 + 関係団体	検討	試行	実装	
1-4. 竣工モデル定義	竣工後に維持管理者等に引き継ぐBIMモデル・情報の内容を定義	国交省 + 関係団体	検討	試行	実装	
1-5. 部品メーカーとのかわり方の整理	ワークフローの各段階でBIMデータを活用した部品メーカーとの適切なかわり方を整理	国交省 + 関係団体	検討	試行	実装	
1-6. BIMを活用した場合の契約	各主体の役割分担に沿った責任を整理し、BIMによる設計、施工に係る標準契約書として整理	国交省 + 関係団体		検討	試行	実装
1-7. 業務報酬のあり方	BIMを用いた設計・施工等の業務に係る報酬のあり方を整理	国交省、建築設計関係団体		検討	実装	
1-8. 著作権	BIMを活用した建築生産・維持管理における著作権の関係を整理	国交省 + 関係団体		検討	試行	実装

2. BIMモデルの形状と属性情報の標準化、3. BIMを活用した建築確認検査の実施、4. BIMによる積算の標準化

※ 現在取組が進められている内容については、取組を行っている団体を、現在まだ手がつけられていない内容については、主体的に関わると考えられる団体を記載しているもの。

部会等の検討の流れ イメージ(案)



建築BIM推進会議・部会等の進め方・スケジュール 案 [2019年度] 国土交通省

- ✓ 6月～9月の間で3回、建築BIM推進会議を開催し、BIMを活用した建築生産プロセスの将来像及びこれに向けた工程表（案）を策定。今年度下半期に 個別の課題に対応する部会を設置し、個別課題の検討を開始。
- ✓ 今年9月以降、建築BIM推進会議は部会の検討結果の共有、関係団体の活動状況の共有を図る場として活用。
- ✓ 第4回建築BIM推進会議（年度末予定）では、将来像・工程表の更新（リーフレット）案※を策定。また、BIM標準ガイドライン（BIMワークフロー）案等を含む部会の活動報告や関係団体の活動報告を実施。

※適宜関係団体に資料提供・意見照会等実施

